

社会学委員会 東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会
(第24期・第8回) 議事要旨

1. 日時 平成31年4月22日(金) 10時00分～12時10分

2. 会場 日本学術会議5-C(2)会議室

3. 出席者:

吉原直樹、岩井紀子(スカイプ)、山下祐介、町村敬志(スカイプ)、玉野和志、岩渕明、増田聡、山川充夫、青柳みどり、島菌進

1. 第7回議事録の確認

2. 提言としてのとりまとめについて

*本分科会の議論を「提言」としてまとめていく。年末をめどに草稿を作成。まとめにあたって、夏にシンポジウムおよび分科会を開催して内容を詰める。

*分科会は4月(今回)、8月、年度末(3月)をめどに今年度3回程度の開催を予定。

3. シンポジウム開催について

*8月上旬、東北大学で開催(分科会後の確認で、8月9日(金)午後地域イノベーション研究センターにて分科会を開催し、8月10日(土)にシンポジウムを東北大学さくらホールにて開催することに決定)。

*シンポジウムテーマは、アーカイブとモニタリングを軸にする。

*なぜモニタリングが必要なのか、何のためのアーカイブなのか、地域における巨大科学技術の役割など広い観点から議論する。

*現在、東北地域で大きな動きのある国レベルの巨大開発計画(ILC、イノベーション・コースト構想)などにも目を配った方がよいのではないか。

*自治体における意思決定の仕方。誰が最終的に決定したのか、よくわからない仕組み。修正の仕組みが備わっていない要にも見える。

*パネリスト案等詳細は、別途幹事会を持って詰める。

4. 次回以降について。

8月9日(金)午後分科会開催、8月10日(土)シンポジウム開催。旅費について分科会メンバーに事前要確認。